


要支援者情報シート

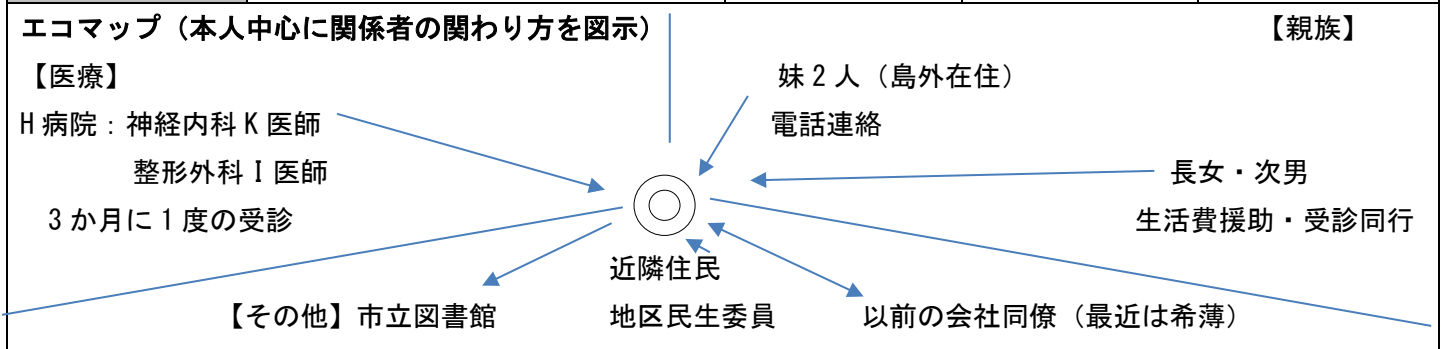
作成者 社会福祉士

作成日 H×/9/13

1 基礎情報

ふりがな	さど とき	性別	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	生年月日	大正		
氏名 (X)	佐渡 トキ				昭和 <input checked="" type="radio"/> ○年△ 月△日 (82歳)		
住所	佐渡市○○1234 番地		電話番号	— △△— 5678			
職業・職歴	経理係として長年働く。						
家族構成 (ジェノグラム) 			Xの家族関係の現況				
			名前	続柄	年齢	特記事項 (強み・良い点含)	
			A 山田 海	長女	56	S県在住。3~6か月に1度は帰省。受診同行 夫が脳梗塞で入院中。	
			B 佐渡 聡	長男	53	アルコール依存症の疑い	
			C 佐渡 剛	次男	50	T県在住。3~6か月に1度は帰省。受診同行 介護が必要な妻の母と同居	
			D本人実妹2人			島外在住。電話での交流有	
E							
住居状況	在宅 (持ち家・アパート・その他)・入院・入所・その他 ( )						
生育歴	3人姉妹の長女として出生。簿記専門学校卒業後簿記の資格を取得。婿養子の夫は教師をしていた。1女2男を設ける。						
障害高齢者の日常生活自立度	自立・ <input checked="" type="radio"/> J1・J2・A1・A2・B1・B2・C1・C2						
ADL	膝の痛みの為長時間の立位は困難。歩行は杖なし歩行は可能。						
認知症高齢者の日常生活自立度	自立・I・ <input checked="" type="radio"/> IIa・IIb・IIIa・IIIb・IV・M						
障がい程度区分	非該当・区分1・区分2・区分3・区分4・区分5・区分6・未申請						
認知症状の状況 (CDR結果) ※該当する項目に○をつける							
得点	なし 0	疑い 0.5	軽度 1	中等度 2	重度 3		
記憶	記憶障害なし 軽度の一貫しない物忘れ	一貫した物忘れ 出来事を部分的に思い出す 良性健忘	中程度記憶障害 特に最近の出来事に対するもの 日常生活に支障	重度記憶障害 高度に学習したもののみ保持、新しいものはすぐに忘れる	重度記憶障害 断片的記憶のみ残存する程度		
見当識 (時間・場所・人)	見当識障害なし	時間的関連の軽度の困難 さ以外は障害なし	時間的関連の障害 中程度あり、検査では場所の見当識良好、他の場所 で時に地誌的失見当	時間的関連の障害 重度、通常時間の失見当、しばしば場所の失見当	人物への見当識のみ		
判断力と問題解決	日常の問題を解決 仕事をこなす 金銭管理良好 過去の行動と関連した 良好な判断	問題解決、類似性差異の 指摘における軽度障害	問題解決、類似性差異の 指摘における中程度障害 社会的判断は通常、保持される	問題解決、類似性差異の 指摘における重度障害 社会的判断は通常、障害される	問題解決不能 判断不能		
地域社会活動	通常の仕事、買物、ボランティア、社会的グループで通常 の自立した機能	左記の活動の軽度の障害	左記の活動のいくつかにかかわっていても、自立できない 一見正常	家庭外では自立不可能 家族のいる家の外に連れ出しても他人の目には 一見活動可能に見える	家族のいる家の外に連れ出した場合生活不可能		
家庭生活・趣味関心 (IADL: 料理、火の始末、掃除、洗濯など)	家での生活、趣味、知的関心が十分保持されている	家での生活、趣味、知的関心が軽度障害されている	軽度しかし確実な家庭生活の障害 複雑な家事の障害、複雑な趣味や関心の喪失	単純な家事手依のみ可能 限定された関心	家庭内における意味のある生活活動困難		

介護状況 (ADL: 食事、排泄、入浴、更衣、整容など)	セルフケア完全	奨励が必要 	着衣、衛生管理など身の回りのことに介助が必要	日常生活に十分な介護を要する 頻回な失禁
---------------------------------	---------	--	------------------------	-------------------------



現病歴				既往歴
年月日	病名	医療機関・主治医	治療状況・処方薬等	・長谷川式 1年前: 18点 半年前: 17点 前回受診時: 12点 ・両膝関節症 安定した状態。
H28年12月	アルツハイマー型認知症	H病院 K 医師	3か月に1度受診	
不明	両膝関節症	H病院 I 医師	3か月に1度受診	

**現在の健康状態** 膝の痛みがあるがゆっくと家事を行っている。しかし、家事を適切に行えているか疑問な点有。薬の管理は自身で行っているが、残薬が残っており服薬が出来ていない様子。

**生活状況 (サービス計画含む)** 本人が家事を行っているが

【認定関係】 <input type="checkbox"/> 介護認定 (未申請) <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 ( 級) <input type="checkbox"/> 療育手帳 ( 級) <input type="checkbox"/> 精神障害者福祉手帳 ( 級) 【利用中のサービス等】	曜日	一週間の動き (午前/午後)	一日の行動パターン
	月	/	6:00 起床
	火	/	朝食・洗濯等
	水	/	買い物
	木	/	12:00 昼食
	金	/	読書
	土	/	19:00 夕食
	日	/	21:00 就寝

**経済状況**

<input type="checkbox"/> 国民年金 <input checked="" type="checkbox"/> 厚生年金 ( ) <input type="checkbox"/> 障害年金 ( 級) <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> 援助その他 (夫の遺族年金・奇数月5万円の仕送り)	収入 (一月あたり)		支出 (一月あたり)	
	年金	20万円	不明	
	仕送り	2万5千円		
	計	約 225,000 円	計	約 万円

資産	<input checked="" type="checkbox"/> 不動産 <input type="checkbox"/> 預貯金 約 ( ) 万円 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 不明	負債	<input type="checkbox"/> 業者 <input type="checkbox"/> 個人 約 ( ) 万円	税金	約 ( ) 万円

**金銭管理状況**  本人  家族 (長男)  その他 ( )  
 具体的内容: 長男が本人の通帳を管理。買い物に必要な分を本人に渡している。

**本人の思い・希望等** 長男が怖い。殺されるかと思った。一緒には住めない。

2 これまでの経過（時系列） ※前半は過去の支援経過を、後半は概ね過去3か月以内の動きを記載。

年月日	情報源	事項（言動・行動・結果等）	備考
H×. 9. 13 8:40	3 長女	<p>「今、母親から『聡（長男）が暴れていつもよりひどい…。怖くてたまらない…。』と電話で助けを求められた為、これからすぐに実家に向かうが、一緒に様子を見に行ってほしい。」と訴える。聞くと、5年程前から長男は働かずにいる為、生活費は母親の年金からすべてを支出している。しかし、それだけでは足りないのか、お金の無心の電話が長女や次男にも連絡が来るようになった。最初の頃は断っていたが、そのうち、母親から電話で「長男が、お金が無くなると怒り出し、暴れて怖い。」との訴えが始まった為、姉弟で相談し、年金が支給されない奇数月に仕送りをしてきた。帰省したその都度、母親に話を聞くが、長男をかばうため、どのような生活をしているのか、やり取りがあるのかわからなかったと話す。今回、地域包括支援センターに相談したことを長男は知らない。</p> <p>即座に包括内の複数の職員で今後の対応について協議し、『虐待の疑いがある』と判断。訪問することを決定。長女に返電し、おおよそその実家の到着時間を確認し、本日 12:30 に社会福祉士・保健師 2 名で長女と共に自宅訪問を実施することとした。長女曰く、今ほど本人に、これから自宅に向かう旨を伝える為、電話を入れたところ、長男が出て、「本人は買い物をすると言って家から出て行った」と呂律の回らない口調で話していたとの事。</p>	
同日 12:30	3 本人	<p>【自宅訪問】</p> <p>地域包括支援センター社会福祉士・保健師が事実確認の為、自宅訪問。長女同行。声をかけ、長女と共に家に入ると、本人が居間のソファに寄りかかり頭を抱えている様子がすぐに確認できた。居間はアルコール臭と少し尿臭がし、缶ビールの空き缶やワンカップの空き瓶がテーブルの上やその付近に散乱していた。その付近には、ワンカップの空き瓶が割れたものと思われるガラス片が散らばり、そこにいくつか血がこびりついてる状態で、床にも血が数滴落ちているような状態だった。椅子も倒されている状態。すぐに保健師が本人の状態を確認すると、本人の右側頭部から流血しており、そこを本人がティッシュで抑え止血をしている最中だった。ティッシュがすでに血で染まっている状態だった。本人の身体の他の状況を確認すると、右側の頬骨あたりと口角付近に新しいあざがあり、唇</p>	

		<p>も切れており血がにじんでいた。長女が、何があったのかを問いただすと、本人が「朝、(長男が) お酒を飲んで、怒り出だした。怒鳴り声を上げながらバタンバタンと何か大きな音がしたので怖くなり、部屋で娘に電話をし、そのまま部屋にいたが、長男が部屋まで来て『金がない。お前は持っていないのか?』と言いながら部屋中のものをひっくり返したので怖くなって、買い物に行ってくると言い家を出た。長男は『金を持つとるんだな! 酒を買って来い!』と怒鳴っていた。通帳も息子が持っていて、お金は私の自由にならないのにねえ。お昼ごはんの支度をしなくてはと思い帰ってきたところ、長男が居間にいて『酒を買ってきたか?』と聞いたので1本だけ購入した缶ビールを渡したが、『一本だけか!』と怒り出し、椅子を投げたり、空き瓶や缶ビールを本人に投げた。拳でも殴られ、強く蹴られた為転倒し割れた破片で頭を切ってしまった。」とポツリポツリ話す。長男はどこにいるのか確認すると「出て行った。どこに行ったかわからない。」と話す。本人は、「怖い。今までは我慢をしてきたけれど…一緒に住むのは怖い。殺されるかと思った。一緒に住むのはいや。」と話す。左足を確認すると膝より少し上の部分が赤く腫れあがっている状態。本人もかなりの痛みを訴え、倒れた場所から立ち上がれずはってソファまで来たと話す。</p> <p>本人に外傷の処置と左足骨折の可能性もあるため、長女と相談し救急車を呼び対応することとした。保健師より消防に連絡を入れ本人の状態を説明の上救急車要請を行う。</p> <p>社会福祉士が本人の発言やけがの状態(頭部外傷・「殺されるかと思った」「怖い」等の発言)からリスクアセスメントのレベルAに該当することを確認し、至急佐渡市市民福祉部高齢福祉課高齢福祉係係長に連絡。状況を伝え、リスクアセスメントシートレベルAに該当し、本人が保護を求めていることを報告。至急コア会議を開催してほしい旨伝え、係長より対応する旨の返答をいただく。また、長男が泥酔状態と思われる状態で外出している為、本人への行動を鑑み迷惑行為を行う可能性もゼロではないことから、包括より警察へ情報提供を行う。</p> <p>救急車を待つ間、本人からの聞き取りを本人が可能な限り行う。最近調理をしても味がおかしいことがあり、長男が怒る回数が多くなった。自分はそうは思わ</p>	<p>高齢者リスクアセスメントシート参照</p>
--	--	--	--------------------------

		<p>ないが、買い物をして同じものを購入しているようで『同じものを買ってくるな!』と毎日怒鳴られる。」と話す。長女が台所にいき、冷蔵庫を見ると卵や牛乳の未開封なものがいくつかあった。長女は『(帰島しても) 病院に行って、食事はたまにだからいつも外食ですませていたから気が付かなかった…。』と話す。鍋を確認すると焦がしたものがいくつか出てきた。長女が他の場所を確認に行き居間にもどってくると「お母さん、洗濯の洗剤が全くないけど…?」と聞くと、本人は、何のことかわからない表情をする。長女が「洗濯どうしてるの? 洗剤はたまたまなくなっちゃったの?」と聞くと、本人は「洗濯はしているよ。ちゃんと」と答える。</p> <p>長女が慌てて本人の部屋に行き、今に戻ってくると「母のタンスを確認したんですが、洗ってはあるけど、汚れが落ちていない服ばかりがしまっていて。洗剤使わないで洗っているみたい。薬もバラバラになっていて、前々回の受診の時にもらった薬もありました。お母さん、認知症進んでいるのかしら? 気が付かなかった。気を付けてたつもりだけど…」と話す。</p> <p>長女には本人の今後の処遇について至急会議を行い、検討をすることを伝える。長女の携帯電話の番号を確認し連絡を取り合いながら対応したいことを伝える。</p> <p>長女から、「母を引き取ってやりたいが、今夫が脳梗塞で倒れて入院中。右に多少麻痺が残っておりリハビリを現在行っている。退院後、生活に支障が出るかもしれないと言われており、今後は仕事をしながら夫の事もしなくてはと思っていた。弟(次男)も介護が必要な妻の母親を引き取り同居している。母を引き取るのは難しいと思う。交代で受診同行や様子を見るために帰島することも何とかやりくりをしていたので…。島内には頼りになる親戚はいない。父親の姉弟は皆亡くなり、下の代になっているし島外に住んでいる。母の妹たちも島外在住で…。」と話す。</p> <p>救急車が到着し、搬送先がH病院になることを確認した後に長女が同乗し出発する。</p>	
--	--	--	--

※情報源の標記【1 = 客観資料 2 = 相談機関による実調査 3 = 直聞き 4 = 又聞き 5 = その他】

### 3 課題抽出・支援計画案

(日付：9月13日コア会議にて検討)

課題	目標	何をどのように	担当者(期限)
1 高齢者リスクアセスメントシートレベルAに該当する程差し迫った虐待状況であり、本人の生命や身体に重大な危険性が生じている。	緊急保護	本人を緊急保護のために一時的にも施設入所させる。措置・面会制限含む。	市高齢福祉課
2 長男の意向や状況の詳細が不明	長男の意向、生活実態把握	長男に面会し、母親の処遇に対しての意向。アルコール摂取の状況や金銭管理などを含む生活実態を把握する。	地区担当保健師 基幹相談支援センター
3 本人介護保険未申請	介護保険を申請し認定を得る	速やかに介護保険の申請を行い今後必要なサービスの検討を行う。	包括支援センター

### 4 支援者リスト ※必要に応じて追加・削除

支援内容	事業所・支援者名	連絡先	頻度・内容・備考等
サービス計画			
ショートステイ			
施設サービス	措置：佐渡市高齢福祉課	◆◆-1111	課長、係長、係員
生活保護			
債務整理			
日常(金銭管理)			
見守り			
後見申立支援	佐渡市社会福祉課	◆◆-1111	社会福祉課障がい福祉係係員
本人への対応	地域包括支援センター	●●-2222	社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員
長男への対応	佐渡市地区担当保健師及び社会福祉課基幹相談支援センター	◆◆-1113	地区担当保健師、基幹相談支援センター員

### 5 成年後見申立の必要性及び現状

後見類型	<input checked="" type="radio"/> 後見 *要確認・ 保佐 ・ 補助 (申立人 市長 )		
申立てが必要な理由	長男が通帳管理しており本人の生活が安定しない。必要な処遇のための経費が初出できない恐れあり。		
四親等内の親族の状況	有無	無 ・ <input checked="" type="radio"/> 有 (別添親族関係図参照) ・ 未確認	
	協力意思	協力はしたいが、長男と関わるようなことは避けたい。(長女・次男ともに)	

### 6 備考(添付書類等)

利用者基本情報・高齢者虐待リスクアセスメントシート

2 これまでの経過（時系列）※前半はこれまでの支援経過を、後半は前回会議後の動きを記載。

年月日	情報源	事項（言動・行動・結果等）	備考
H×.9.13 18:00	3 高齢福祉課係長	<p>コアメンバー会議終了後、市高齢福祉課係長が、Qグループホームでの一時保護を調整し9月14日午後に入所できるよう手配するとともに入所にあたっては長女に付き添いを依頼する。</p> <p>長男はそのまま自宅に帰ることになったと警察から高齢福祉課係長に連絡が入る。地区担当保健師と社会福祉課基幹相談支援センター職員2名で9月14日面会実施することになった。</p>	
	3 長女	<p>病院受診した結果、本人の状態として足は骨折してはいなかった。頭部については傷の手当てをしてもらい念のためCTの撮影を行ったが異常はなかったとの連絡が入る。明日の入所の件を伝え、『母も家に帰りたがらないし、何かあったらすぐに病院と思い、病院の近くのホテルに確認したら空き室があることが分かったのでそこに泊まります。』との返答がある。</p>	
9.14 11:00	5	<p>市高齢福祉課 係長、係員、地域包括支援センター社会福祉士が本人、長女が泊まっているホテルに行き、本人・長女に面会。社会福祉士から本人に、長男から暴言・暴力があり実際けがをされたためしばらくの間長男と別に生活することを説明する。本人は「そうね…。その方がいいわ。でもあの子（長男）大丈夫かしら？」と発言がある。長男が逮捕されたことはふせこれから市役所が長男の様子を見て行くことを説明すると「お願いします」と頭を下げた。</p> <p>市役所にて長女が介護保険申請の手続き後、Qグループホームに入所となる。</p> <p>同時刻に地区担当保健師と社会福祉課基幹相談支援センター職員2名が自宅にて長男と面会した。内容の報告を受ける。</p> <p>■長男からの聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコールは帰島する前から飲んでおり、それがもとで仕事を辞めた。</li> <li>・母親は、まったくいう事を聞かない。最近は、食事を作ってもしょっぱかったり味がしなかったり甘かったりと食べられるもんじゃない。火つけっぱなしで火事になるかと思ったこともあった。やらんでもいいといってもやるので腹が立つ。</li> <li>・金の管理もできるわけもないから俺が見てやってい</li> </ul>	

13:30			<p>る。買い物するからよこせというからやってもおんなじものばかり買ってくる。そのくせ俺の酒は買って来ない。母親に金をやっても無駄使いするばかりだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日そんなだからずっと酒を飲んでいる。</li> <li>・金は、俺は収入がないし、母親のしかない。親子なんだから使ってもいいだろう。</li> </ul> <p>と話した。再度訪問し面会をしたい申し出をしたところ拒否はなかったため再度訪問を実施する予定であるとの事。</p> <p>Q グループホームに措置入所。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長男の面会の内容から成年後見制度の利用を行う事と後見人等がついたのちに金銭的に困り面会を求めてくる可能性があるとしてコアメンバー会議で決定した通り、面会制限をかけた。</li> <li>・高齢福祉課係長より、社会福祉課障がい福祉係へ要請し、市長申立ての準備に取り掛かる。</li> <li>・長男の事を心配して自宅に帰る、と訴える可能性があるとして、部屋に落ち着いた頃に地域包括支援センター社会福祉士が本人と面接し、再度、意向を確認する。本人は「家に帰りたい気持ちはあるが、あの子（長男）が怖い。」と訴えた。</li> <li>・長女から次男に連絡を入れ、今回の流れを説明。「協力できることがあったらしたいが母親を引き取ることは難しいし、長男には出来るだけ関わることは避けたい。」と話した。</li> </ul>	
9.19	3	地区担当 保健師	<p>地区担当保健師と社会福祉課基幹相談支援センター員2名が自宅訪問。長男と面会は出来たが、飲酒しており酩酊状態に近かったため話にならなかったとの事。</p>	
9.25	3	地区担当 保健師	<p>地区担当保健師と社会福祉課障がい福祉係員2名が再度自宅訪問。長男と面会。飲酒していたものの酩酊状態ではなく、会話が可能なため面会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親がいなくなってせいせいしたと話す。</li> <li>・母親の通帳等を持っているのかと確認したところ持っている通帳を見せた（中身はみせず）との事。母親の年金の為、母親に必要なものに使用してもらいたいと説明するが、収入のない自分が親の年金を使用して何が悪い！と怒り出した。</li> <li>・面会の途中も飲酒を続けていた。</li> <li>・保健師より長男自身の健康が心配なため受診を勧め</li> </ul>	



		たものの「大丈夫だ」と拒否。せめて飲酒を控えるように話す。「そんなに飲んではない。」と返答。 ・今後も面会を続けたい旨を伝えると拒否はなかった。	
--	--	---	--

※情報源の標記【1=客観資料 2=相談機関による実調査 3=直聞き 4=又聞き 5=その他】

### 3 前回会議の支援計画 評価

(日付：9月27日評価会議)

目 標	達成状況	評価
緊急保護	Qグループホームに措置入所。面会制限をかける。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
長男の意向、生活実態把握	長男と面会実施。母親の介護の意思なし、金銭管理についても親子だから使用して当然の意識。アルコール摂取しており、改善の意向無、	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討
介護保険を申請し認定を得る。	介護保険申請済み	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
		虐待対応→ <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 終了の場合：今後の対応→ <input type="checkbox"/> 困難事例 <input type="checkbox"/> ケアマネ支援 <input type="checkbox"/> 関係機関へのつなぎ

### 4 新たな課題抽出・支援計画案

課 題	目 標	何をどのように	担当者（期限）
1 本人の通帳を長男が管理→本人の処遇に拠出不可	本人の通帳を適切に管理できる。	成年後見制度の利用（市長申立て）出来る。	市高齢福祉課係長
2 長男の生活実態が不明瞭	長男との関係性構築→支援へと結びつける	面会を引き続き実施し、関係性を構築し、長男のアルコールへの支援を開始できる。	地区担当保健師 基幹相談支援センター
3 長女・次男からの本人・長男への支援内容	長女・次男に行ってもらうための支援の明確化	長男・本人への処遇の意向確認と支援内容の検討が出来る	包括支援センター

### 5 支援者リスト ※必要に応じて追加・削除

	支援内容	事業所・支援者名	連絡先	頻度・内容・備考等
1	サービス計画			
2	ヘルパー			
3	デイサービス			
4	訪問入浴			
5	ショートステイ			
6	在宅健康管理			
7	施設サービス			
8	生活保護			
9	債務整理			
10	日常（金銭管理）			
11	見守り			
12	後見申立支援			

## 6 成年後見申立の必要性及び現状

後見類型	<input checked="" type="radio"/> 後見 ・ 保佐 ・ 補助 （申立人 市長 ）	
申立てが必要な理由	長男が通帳管理しており本人の生活が安定しない。必要な処遇のための経費が初出できない恐れあり。	
四親等内の親族の状況	有無	無 ・ <input checked="" type="radio"/> 有 （別添親族関係図参照） ・ 未確認
	協力意思	協力はしたいが、長男と関わるようなことは避けたい。（長女・次男ともに）

## 7 備考（添付書類等）

--

**2 これまでの経過（時系列）** ※前半はこれまでの支援経過を，後半は前回会議後の動きを記載。

年月日	情報源	事項（言動・行動・結果等）	備考
H×.10.3	3 障がい福祉係員	家庭裁判所に必要書類をそろえて申立てを行う。財産保全の申立ても行った。後見人候補者はL弁護士が内諾されたとの事。	
10.5	3 本人	包括支援センター社会福祉士が本人に面会。本人は「ここにいさせてもらってよかった。あの子の事は心配だけど、ずっとここにいたいわ。」と発言。	

※情報源の標記【1＝客観資料 2＝相談機関による実調査 3＝直聞き 4＝又聞き 5＝その他】

**3 前回会議の支援計画 評価** (日付：10月11日評価会議)

目標	達成状況	評価
本人の通帳を適切に管理できる。	成年後見の申立て済み。財産保全の審判がおり財産管理人がついた。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
長男との関係性構築→支援へと結びつける	長男と面会実施。面会の拒否はなく関係性は徐々に構築されている。アルコール摂取は依然として継続中。受診勧奨には応じず	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討
長女・次男に行ってもらうための支援の明確化	本人については継続して施設で生活を希望。出来る限りの支援は行うとの事。長男に関しては考えたいとの発言にとどまる。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
虐待対応→ <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 終了の場合：今後の対応→ <input type="checkbox"/> 困難事例 <input type="checkbox"/> ケアマネ支援 <input type="checkbox"/> 関係機関へのつなぎ		

**4 新たな課題抽出・支援計画案**

課題	目標	何をどのように	担当者（期限）
1 通帳が使用できなくなることで長男の動向が不安	長男の動向を把握し、本人の生活の安定を図る。	警察への協力要請。	市高齢福祉課係長
2 長男の生活実態把握	長男との関係性構築→支援へと結びつける	面会を引き続き実施し、関係性を構築し、長男のアルコールへの支援を開始できる。	地区担当保健師 基幹相談支援センター
3 長女・次男からの本人・長男への支援内容	長女・次男に行ってもらうための支援の明確化	長男への処遇の意向確認と支援内容の検討が出来る	包括支援センター

**5 支援者リスト** ※必要に応じて追加・削除

	支援内容	事業所・支援者名	連絡先	頻度・内容・備考等
1	サービス計画			
2	ヘルパー			
3	デイサービス			
4	訪問入浴			
5	ショートステイ			
6	在宅健康管理			
7	施設サービス			
8	生活保護			
9	債務整理			

10	日常（金銭管理）			
11	見守り			
12	後見申立支援			

## 6 成年後見申立の必要性及び現状

後見類型	後見 ・ 保佐 ・ 補助 （申立人）		
申立てが必要な理由	長男が通帳管理しており本人の生活が安定しない。必要な処遇のための経費が初出できない恐れあり。		
四親等内の親族の状況	有無	無 ・ 有 （別添親族関係図参照） ・ 未確認	
	協力意思	協力はしたいが、長男と関わるようなことは避けたい。（長女・次男ともに）	

## 7 備考（添付書類等）

--

**2 これまでの経過（時系列）** ※前半はこれまでの支援経過を、後半は前回会議後の動きを記載。

年月日	情報源	事項（言動・行動・結果等）	備考
H×.11.9	3 障がい福祉係員	家庭裁判所から後見人の審判が下りたとの連絡が入る。抗告期間を経て後見人が着任後1か月後となる12月3日に評価会議を行う事を決定する。	

※情報源の標記【1＝客観資料 2＝相談機関による実調査 3＝直聞き 4＝又聞き 5＝その他】

**3 前回会議の支援計画 評価**

（日付：12月3日評価会議）

目標	達成状況	評価
1 通帳が使用できなくなることで長男の動向に不安	長男の動向に警察対応あり。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
2 長男の生活実態把握	長男と面会実施。地区担当保健師、基幹相談支援センター員との関係性が構築され受診承諾。生活保護受給申請も済んだ。生活保護支給されるまでの間は長女・次男の援助有。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
3 長女・次男からの本人・長男への支援内容	長男に関しては直接の関わりは避けたいが出来る範囲の支援はする。できればアルコールの治療をしてほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再検討
		虐待対応→ <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 終了の場合：今後の対応→ <input type="checkbox"/> 困難事例 <input type="checkbox"/> ケアマネ支援 <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関へのつなぎ （虐待対応は終了するが、養護者支援は今後も継続していく。）